

26教福第 76号

26教高第303号

平成26年 8月 8日

各県立学校長 様

教 育 長

(公印省略)

平成25年度「プラス1」推進運動取組調査結果について

日ごろから、働きやすい職場環境づくりに御尽力いただき感謝申し上げます。

さて、標記の調査については、御多用のところ御協力いただきありがとうございました。

調査結果を別添のとおり送付しますので、他校の取組を参考に、職員間の情報共有を図り、働きやすい職場環境づくりに向けた、より実効性のある取組をお願いします。

【担当】

県教育庁福利厚生室 佐藤

電話 095-894-3342

FAX 095-823-3997

Eメール s40070@pref.nagasaki.lg.jp

平成25年度「プラス1」推進運動取組調査結果（県立学校）

	高等学校	特別支援学校	中学校	合計
回答校数	66	20	3	89

1、平成25年度「プラス1」推進運動の貴校の取組により、【校務負担】は軽減されましたか。

	項目	(校数)			(%)	
		高等学校	特別支援学校	中学校	合計	割合
1	軽減された	5	2	1	8	75%
2	どちらかと言えば軽減された	40	13	2	55	
3	どちらかと言えば軽減されなかった	15	3	0	18	25%
4	軽減されなかった	3	0	0	3	
5	校務負担軽減以外の取組である	3	2	0	5	
6	その他	0	0	0	0	

2、同じく、【働きやすい職場環境】となりましたか。

	項目	(校数)			(%)	
		高等学校	特別支援学校	中学校	合計	割合
1	働きやすくなった	6	3	1	10	98.8%
2	どちらかと言えば働きやすくなった	55	17	2	74	
3	どちらかと言えば働きにくくなった	1	0	0	1	1.2%
4	働きにくくなった	0	0	0	0	
5	その他	4	0	0	4	

「その他」の内容
 変わらない。はっきりしない。どちらとも言えない。
 校務を「組織的であるか」という観点で見直す機会になった。

3、同じく、【運動自体】は、新たな校務負担となりましたか。

	項目	(校数)			(%)	
		高等学校	特別支援学校	中学校	合計	割合
1	校務負担とならなかった	21	6	2	29	77.3%
2	どちらかと言えば校務負担とならなかった	27	11	1	39	
3	どちらかと言えば校務負担となった	16	3	0	19	22.7%
4	校務負担となった	1	0	0	1	
5	その他	1	0	0	1	

「その他」の内容
 校務の内容を見直す機会になった。

4、各校がどのような取組をしているかについて集計をお送りしました（平成26年2月13日付メール）。働きやすい職場環境づくりについて【新たにまた別に取り組んでいること】があれば記入してください。

前回の集計に掲載していたものと同様の項目については、掲載しておりません（以下同じ）

- ・ 提出期限や会議、授業等の予定を早めに提示し、計画的に業務へ取り組む。
- ・ 全日制との合同研修を実施する。
- ・ 帰宅を促すため、個人情報以外のUSBメモリの持ち帰りを教頭決裁とした。
- ・ 標語を募集する。
- ・ 「ホチキス外しを購入し、シュレッダーのところに置く」など細かいことでも、設備面も含めてストレスのない環境づくりを進めている。

5、同じく、「学校単位では対応が困難な、校務負担軽減のための取組事項」について回答しました。このことについて、【御意見・御要望等があれば】記入してください。

県関係諸課からの重複した調査報告については、直ちに改善の取組をして欲しい。例えば、年度初めの高校教育課からの「主任等の任命に関する具申について」と、特別支援教育室からの「特別支援学校主任等調査」。

今後は重複した内容の照会は避けたい。【特別支援教育室】

出勤簿や年休処理、給与の口座変更等も各職員がポータルから行うことで、事務室の負担軽減につながる。

出勤簿及び年休処理については、ポータルから行うことができるようシステム化の準備を進めています。【総務課】

給与の口座変更等は、ポータルへ移行した際に振込不能等で逆に事務が煩雑になる可能性もあるため、負担軽減につながるのかどうか十分に把握したうえで、軽減につながるのであればシステム化を検討したいと考えています。【教職員課】

6、翌年度以降、「プラス1」推進運動がさらに働きやすい職場環境づくりにつながるように、御意見・御要望等があれば記入してください。

(1)「働きがい」や「充実感」につながる取組姿勢について

- ・ 働きやすい=意気に感じられる職場なので、仕事量ではなく生徒の為、学校の為等やりがいのある仕事にしていく。

(2)その他、運動推進のための取組姿勢等について

- ・ 管理職だけでなく、全ての職員に本運動の趣旨、取組が理解できるように、一層の周知を図る必要がある。
- ・ 次年度はもっとボトムアップ的な意見の吸い上げを考えていきたい。
- ・ 働きやすい職場環境につながるよう教職員の意見を取り入れ、検討していきたい。
- ・ 他校の取組を参考にしながら負担がかからない方法で「プラス1」を取り入れていきたい。
- ・ 安全衛生委員会、服務規律委員会とも連携することで、働きやすい環境づくりを進めている。
- ・ 学校安全衛生委員会と一体となった取組が必要と思われる。

(3)要望等及び回答

多くの職員研修を要求され、業務がふくれあがっている。数年たち軌道に乗ったら現場判断に任せる指示を、県各課で調整して出して欲しい。

職員研修は、人材育成や職員の意識改革のために必要であり、「長崎県公立学校教職員研修体系要綱」に基づき、体系的な研修を実施しています。重複した内容の研修などがあれば、お知らせください。

【福利厚生室】

7、その他、「プラス1」推進運動に御意見・御要望等があれば記入してください。

このようなアンケートで現場の情報を吸い上げることは大変良いことだと思う。

校務軽減について全職員で考える機会を持てたことは有意義であった。

運動開始から、毎年度1項目以上の目標設定は、年度が進むと困難になる。

必ずしも毎年異なる目標の設定は必要ありません。現在の取組を深めたり更に改善するなど、実効性のある取組をお願いします。 【福利厚生室】

会議の削減に取り組んでいるが、一方で「年3回程度」とされている安全衛生委員会を必ず3回実施するよう指示されている。柔軟な対応を。

安全衛生委員会については、教職員の健康や安全管理を踏まえた働きやすい職場環境づくりのため、「計画策定・進捗状況管理・検証」を行うことは重要だと考えます。他の委員会などとの連携や同時開催など、できるだけ負担とならないように、効率的で実効性のある取組をお願いします。

【福利厚生室】

【参考】「福利厚生室からのお知らせ」を利用していますか。

No.	項目	高等学校	特別支援学校	中学校	合計
1	よく利用している	0	0	0	0
2	利用している	32	8	2	42
3	知っているが利用していない	29	10	1	40
4	知らなかった	5	2	0	7

NEWSポータルサイトの基本リンクに掲載している、福利厚生室の年間事務処理一覧表です。